

平成19年度

1.17

防災未来賞

ぼうさい 甲子園



イラスト 清嶋克己さん

子どもや学生が学校や地域で取り組んでいる
さまざまな防災教育や防災活動を募集します。

小学生、中学生、高校生、大学生の4部門。各部門で「ぼうさい大賞」賞金20万円／
うち1点を「グランプリ」賞金40万円／各部門で優秀賞1点・奨励賞数点

応募締切

平成19年
9月30日

【問い合わせ先】

〒530-8251 (住所不要) 毎日新聞大阪本社内 ぼうさい甲子園事務局

●電話 06-6345-1551 (代) ●ファックス 06-6346-8163

●メール bousai@mbx.mainichi.co.jp

〒651-0073 (神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館6階)

(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構企画課

●電話 078-262-5585 ●ファックス 078-262-5587



防災マスコット
はばタン

●主催 兵庫県、毎日新聞社、(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
●後援(予定) 内閣府、総務省消防庁、国土交通省、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会

防災力強化県民運動
-ひょうご防災アクション2007~2009-

平成19年度

1.17防災未来賞 ぼうさい甲子園

学校や地域で防災教育や防災活動に取り組んでいる子どもや学生を顕彰する事業です。
阪神・淡路大震災の経験と教訓を未来に向かって継承していくため、兵庫県と毎日新聞社、
(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構が共催。
全国で行われている防災教育や防災活動の取り組みを募集して優秀作を選考、
来年1月に神戸市内で表彰式・発表会を行います。
各地で地震が発生するなど自然災害への備えが一層重要になっています。
次世代を担う子どもたちが防災意識を高めるように、との願いを込めて実施します。

1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」実施要項

【対象部門】

①小学生 ②中学生 ③高校生 ④大学生

【対象活動】

自然災害から命と暮らしを守るための防災教育や防災活動の取り組み。
応募は学校、クラス、サークル活動、ボランティア活動、地域などの
単位で。推薦も可。

※詳しくは、毎日新聞「ぼうさい甲子園」のホームページで。

【選考】

河田恵昭・人と防災未来センター長（京都大学防災研究所巨大災害研究センター長）を委員長とする選考委員会が審査、決定。

【賞】 「ぼうさい大賞」各部門1点（賞金20万円）

「グランプリ」上記の中から1点（賞金40万円）

「優秀賞」各部門1点

「奨励賞」各部門数点

【応募先】

〒530-8251（住所不要）

毎日新聞大阪本社内、ぼうさい甲子園事務局

電話 06-6345-1551(代) ファックス 06-6346-8163

メール bousai@mbx.mainichi.co.jp

【応募締め切り】

平成19年9月30日（消印有効）

【応募用紙の配布】

応募先あるいは兵庫県企画管理部防災企画局企画課防災事業係（電話078-341-7711 内線5388）、(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構（電話078-262-5585）にて配布。

インターネットでの入手方法は、MSN毎日インタラクティブ（<http://www.mainichi-msn.co.jp/>）の毎日新聞題字下「地域ニュース」→関西のニュース特集「めっちゃ関西」→右側にある「毎日新聞紙面から・ぼうさい甲子園」のページで。

【表彰式・発表会】

平成20年1月に神戸市内で開催予定



選考基準

- 地域性＝自分の住んでいる地域の実情に合った取り組みをしている。
- 独創性＝活動内容に創意工夫があり、ユニークであること。
- 自主性＝子どもたちが積極的に参加、考えながら取り組んでいる。
- 継続性＝一過性の取り組みではなく、大人になってからも有効な防災意識を持ち続けられる内容である。

- ※成果がまだ出ていないものでも、すでに取り組みを始めているものについては対象にします。（たとえば、来年1月に発表会をするもの、など）
- ※単なる防災訓練、放水訓練などをした、というものは対象外としますが、少しでも子どもたちからの積極的な関わりがあれば対象とします。
- ※大人たちの防災組織の中で子ども部会などを設け、自主的で独創的な取り組みをしていれば対象とします。
- ※その他、何でも事務局に相談してください。

「1.17は忘れない」

兵庫県では“1月17日はひょうご安全の日”“1月は減災月間”と定め、取り組みを進めています。
1月17日は「防災とボランティアの日」、1月15～21日は「防災とボランティア週間」